

地域看護学展開論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護学部		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

地域で生活する人々の発達段階および健康課題に対応した保健活動の特徴について学び、母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害者対策、難病対策、感染症対策および災害対策等における保健活動の展開方法を理解する。そして、健康課題を解決するための保健活動の課題についても学修する。また、学校保健や産業保健における保健活動の特性を理解し、それぞれの場の特徴と保健活動の展開について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

地域で生活する人々の健康課題を発達段階および疾病対策ごとに理解できる。そしてそれぞれに対応して展開される保健活動の意義を理解することができる。学校保健および産業保健の場における健康課題と保健活動の展開について理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：4.7.8

・到達目標（SBO）

1. 地域における心身の健康増進や障害者の生活を支えるシステムについて説明できる。
2. 保健・医療・福祉における課題（生活習慣病、母子保健、児童福祉、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者の保健・医療・福祉制度、認知症、障害児・者施策、精神保健、歯科保健、感染症、がん、難病等）の動向と対策について説明できる。
3. 母子の健康生活について理解し、それを支える産後ケアや育児支援、母子保健のシステムについて説明できる。
4. 子どもの成長・発達と健康上の課題を統合するとともに、病院や家庭、学校等の場に応じた対象者のニーズを捉えて看護を説明できる。
5. 虐待等、特別な状況にある子どもや家族、社会の特徴を理解し、必要な看護を理解できる。
6. 発達障害を早期にアセスメントし、適切な環境を提供する支援について説明できる。
7. 必要な療養やセルフケアについて、社会生活に求められる仕事と生活の観点から就労生活、家族

生活との両立を支援する方法について理解できる。

8. 回復期にある人が障害に応じた生活を送るために、活用できる社会資源と連携し、就労等の支援について説明できる。
9. 高齢者がその人らしく生きるため、多様な健康レベルに応じて多職種や関係機関との連携・協働について考察できる。
10. 家庭・学校・職場等におけるメンタルヘルス向上のための支援について説明できる。
11. ノーマライゼーションの支援について理解できる。
12. 災害時の医療救護活動のフェーズ（超急性期、急性期、亜急性期、慢性期、静穏期）と各期の看護について理解できる。
13. 地域包括ケアにおける多機関・多職種連携・協働について理解できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/21	金	2	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	感染症対策および災害対策における課題と保健活動 ・ 感染症における健康課題と対策を説明できる ・ 感染症に罹患している人々の生活障害の特性や課題に応じた支援方法を説明できる ・ 感染症の予防のための支援活動を説明できる ・ 災害予防対策について説明できる
6/24	月	4	看護学部	松岡 真紀子 非常勤講師	母子保健における課題と保健活動 ・ 子どもと親の健康課題と対策を説明できる ・ 新生児期・乳幼児期の人々の健康への支援方法を説明できる ・ 支援ニーズが高い子どもおよびその親に生じやすい健康課題と支援方法について説明できる

6/27	木	4	看護学部	松岡 真紀子 非常勤講師	<p>成人保健（生活習慣病対策）における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人期の人々の健康課題と対策を説明できる ・成人期の人々の健康への支援方法を説明できる ・支援ニーズが高い成人期に生じやすい健康課題と支援方法について説明できる
7/4	木	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>高齢者保健（介護予防等）における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の人々の健康課題と対策を説明できる ・高齢期の人々の健康への支援方法を説明できる ・要支援、要介護状態にある人々の健康への支援方法を説明できる ・支援ニーズが高い高齢期に生じやすい健康課題と支援方法について説明できる
7/5	金	2	看護学部	松岡 真紀子 非常勤講師	<p>精神保健・障害者対策および難病対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域集団の精神保健における健康課題と対策を説明できる ・人々の心の健康づくりを目的とした支援方法を説明できる ・精神疾患・精神障害による療養者の健康への支援方法を説明できる ・精神の健康への支援においてニーズが高い対象者への健康への支援方法を説明できる
7/10	水	4	看護学部	松岡 真紀子 非常勤講師	<p>歯科保健に関する課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健の健康課題と対策を説明できる ・発育・発達段階に応じた歯科の健康への支援方法を説明できる

7/12	金	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>障害者対策および難病対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人々の健康課題と対策を説明できる ・ 生活障害の特性や課題に応じた支援方法を説明できる ・ 難病療養者の健康課題と対策を説明できる ・ 多機関が連携した支援システムの構築について理解できる
7/16	火	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>学校保健・産業保健における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の健康課題に対応した支援方法を説明できる ・ 学校における養護教諭の役割・機能や保健室の機能と運営について説明できる ・ 職域における健康問題に対応した支援方法を説明できる

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版	荒賀直子、他編	インターメディカル	2017
参	国民衛生の動向 2018/2019	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2018

・ 成績評価方法

定期試験 80%および課題レポート 20%の合計 100%で評価する。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し予習した上で授業に臨むこと。また講義中に提示した予習ポイント・課題を学修して臨むこと。事後学修は、本科目指定の教科書だけでなく、授業内容に関連した履修済の教科書や配布資料、ノート等を用い復習すること。適宜、講義中に事前学修の発表時間を設ける。事前事後学修時間は各回最低 30 分を要する。
グループワークではそれぞれのテーマに沿って事前学修を行い臨むこと。グループワークを行う授業では事前学修は最低 1 時間を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・ 授業に課題を課す場合は、期日までに Webclass で回収し、授業等でフィードバックする。
- ・ レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論

助産師（別表 2）：基礎助産学

看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影